

令和2年度
学校関係者評価報告書

学校法人 佐藤栄学園
専門学校 埼玉自動車大学校

1. 目的

学校関係者評価は以下のことを目的として実施するものとする。

- ①自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。
- ③学校は評価結果を改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や学校運営や教育活動などについて具体的に改善を図る。

2. 学校関係者評価委員

遊間 尚美	保護者	埼玉自動車大学校親交会	会長（委員長）
丸山 奈美子	保護者	埼玉自動車大学校親交会	副会長
桑原 恵美子	保護者	埼玉自動車大学校親交会	副会長
細井 和弘	第27期卒業生	株式会社K-STAGE	
原島 政幸		有限会社Car Body Shop Vicky	代表取締役

3. 学校関係者評価委員会の開催状況

- ・日時：令和3年5月11日（第1回委員会・書面会議）
令和3年5月31日（第2回委員会・書面会議）

4. 学校関係者評価委員会報告（評価する点、改善点、要望等）

（1）教育理念・目的・育成人材像

- ・時代の流れとともに社会経済のニーズにも合わせた、プロフェッショナルな人材育成の取り組み。

（2）学校運営

- ・教育活動に関する情報公開（ホームページや SNS 等）および、情報システム等による業務の効率化を図ることができている。情報発信と共有を同時に成立させることが望ましいと考える。
- ・終わりの見えない新型コロナウイルスとの戦いのなか、感染防止対策への気配り等にお礼を申し上げたい。

(3) 教育活動

- 新型コロナウイルス感染症の関係で、海外・国内での研修が出来なくなる可能性があり、講習などそれ相応の対応を考える必要がある。

(4) 学習成果

- 昨年度中止となった資格取得等、今年度早期段階での補充等を希望する。
- 新型コロナウイルス感染防止対策を講じながらの学校運営であるため、補習時間の減少は致し方ない。
- 一級自動車整備士試験の合格率を少しでも上げることが勿論のこと、日々の学習で身につけた知識・技術をより深め、社会に出るときに必要な「自信」をつけさせることが大切である。

(5) 学生支援

- 最近の厳しい経済状況においても安定した就職内定率を維持出来ているのは、一人ひとりに極め細やかなサポートが施されている結果だと思う。

(6) 教育環境

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海外研修、課外研修等、学生が楽しみにしていた行事等の中止が相次いでいることに心を痛めている。なにか別途体験等を企画できないか期待している。
- 学ぶ意欲を引き出してくれる施設設備が充実しており素晴らしいと感じている。今後も、整備、板金、塗装、カスタマイズができる実践的な技術を高度なレベルまで引き上げられる環境に期待します。

(7) 学生の受入れ募集

- オープンキャンパスなど、体験型イベントが多く、学校の雰囲気などが肌で感じられることができ、とても良いと思う。
- 職員側の対応が素晴らしいと思っている。

(8) 財務

- 関係者の皆さまのご尽力で、有効かつ妥当なものとなっているが、新型コロナウイルス感染症の影響による日本経済の変化に対応すべく尽力していただきたい。

(9) 法令等の遵守

- 日頃の業務を遂行するうえで、各自が常にコンプライアンスを意識し、その推進に取り組むために必要な情報を共有できる学校運営をお願いしたい。

〈令和2年度の取組状況〉意見・改善点

- 学生一人ひとりの適性や能力を把握し、就職が決定するまでの支援を行い、職業意識の高揚を図るとともに、企業組織やビジネスの理解を深めるようなサポートをこれからも引き続き、明確にアピールしていければよいと思う。
- コロナ禍においても、授業や実習を工夫していただき感謝申し上げます。引き続き感染症対策もしっかり実施してもらい、充実して安心した学生生活を送ってほしい。

以 上